

事業所名

LUPE

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

3月

25日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・素敵なところを見つけて寄り添う ・Let's try!を合言葉にいろんな事にチャレンジしてみる ・幸せを感じられる居場所をつくる 		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの個性を理解し、スモールステップで成功体験を積み重ね、自信につながる支援を心がける。 ・子どもの得意なことや興味を引き出し、それを伸ばす機会を提供する ・困難に直面した際には、「できなかった」ことに焦点を当てるのではなく、「どうしたらできるようになるか」を一緒に考える姿勢を持つ ・関連機関（相談員はじめ学校や保育園等）と連携し、チーム一丸となってこどもがのびのびと成長できる環境と支援を行う ・日常生活動作（ADL）・手段的日常生活動作（IADL）への応用につながる支援を行う 		
営業時間		9 時 から 18時 まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の様子や日々の体調変化をご家庭と情報共有しながら、快適に過ごせるように一緒に考えます。 ・食事や排泄、更衣動作などの基本的な生活動作を関係機関、ご家庭と連携し、こどものペースで支援します。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・個性や個人にあった運動内容を考え、こどもに合った難易度を調整し、スモールステップで達成感が実感できるように支援します。 ・ストック効果効果を最大限に活かせるように強みを意識し、心身ともにたくましく成長できるように支援します。 ・感覚の特徴を考慮して、こどもが快適に生活できる環境や関わり方を情報共有して支援します。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の変化を確認（日付の確認、天気、季節行事など）、スケジュールを確認して時系列の認知形成、見通しの立てられる支援から行動に繋がれるように支援します。 ・小集団での関わりで基本的なルールやお約束などの認知的発達を促せるように支援します。 ・物や道具などの特性を理解し、認知発達を促し、適応能力が向上することができるように支援します。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの会、終わりの会での発表や振り返りを通して、自発的な表出やコミュニケーションスキルの向上を促します。 ・「〇〇がしたい」「〇〇は嫌です」など、こどもの気持ちに寄り添い、自分で意思表示ができるように支援します。 ・「〇〇貸して」「ありがとう」などの他者とのやり取りや、「おはよう」「さようなら」などの挨拶が行えるように支援します。 ・必要に応じて、言語的コミュニケーションだけでなく、絵カードなどの視覚的なコミュニケーションも取り入れて、気持ちが伝えられるように支援します。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人達と安定した人間関係を形成することができるように、個別や小集団での療育を通して「お約束」などの認知過程や協力するなどの行動過程を支援します。 ・「一人できた」「〇〇さんとできた」などどうすればできるかなどの自己認識を高め、必要に応じて助けが求められるなど適応力が向上できるように支援します。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のやりとりや懇談等を通してご家庭の悩みに寄り添い、より良い関わり方などを一緒に考えます。 ・児やご家族が選んだり選択できるように支援します。 ・夏祭りなど保護者同士が関わりが持てる機会を支援します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関（保育所・学校）と連携し、必要に応じて訪問します。情報提供・共有を通して、具体的な関わり方を共有します。 ・申し送りや伝達を通してスムーズに移行できるように支援します。 ・保育所での引き渡しの際、がんばったことや様子などを共有します。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関（保育所・学校）と連携をとり、情報共有してインクルーシブ教育のニーズに合わせた支援を同時に提供できるように支援します。 ・地域のイベントに参加、他施設（福祉施設など）との連携を通して地域との交流の場を提供します。 ・実習生や施設見学などを受け入れ、地域との関わりと大切にします。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加・報告 ・職場内学習会 ・事例検討（定期開催） ・朝会での療育内容の振り返り、支援内容の確認（毎日実施） ・感染対策、虐待防止研修などの実施
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・プール活動（7～8月） ・新年度説明会（2月） ・他 季節の行事 		

事業所名

LUPE

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

3月

25日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・素敵などころを見つけて寄り添う ・Let's try!を合言葉にいろんな事にチャレンジしてみる ・幸せを感じられる居場所をつくる 	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの個性を理解し、スモールステップで成功体験を積み重ね、自信につながる支援を心がける。 ・子どもの得意なことや興味を引き出し、それを伸ばす機会を提供する ・困難に直面した際には、「できなかった」ことに焦点を当てるのではなく、「どうしたらできるようになるか」を一緒に考える姿勢を持つ ・関連機関（相談員はじめ学校や保育園等）と連携し、チーム一丸となってこどもがのびのびと成長できる環境と支援を行う ・日常生活動作（ADL）・手段的日常生活動作（IADL）への応用につながる支援を行う 	
営業時間		9 時 から 18時 まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の様子や日々の体調変化をご家庭と情報共有しながら、快適に過ごせるように一緒に考えます。 ・食事や排泄、更衣動作などの基本的な生活動作を関係機関、ご家庭と連携し、こどものペースで支援します。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・個性や個人にあった運動内容を考え、こどもに合った難易度を調整し、スモールステップで達成感が実感できるように支援します。 ・ストック効果効果を最大限に活かせるように強みを意識し、心身ともにたくましく成長できるように支援します。 ・感覚の特徴を考慮して、こどもが快適に生活できる環境や関わり方を情報共有して支援します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の変化を確認（日付の確認、天気、季節行事など）、スケジュールを確認して時系列の認知形成、見通しの立てられる支援から行動に繋がれるように支援します。 ・小集団での関わりで基本的なルールやお約束などの認知的発達を促せるように支援します。 ・物や道具などの特性を理解し、認知発達を促し、適応能力が向上するように支援します。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの会、終わりの会でのプレゼンテーションを通して、自発的な表出やコミュニケーションスキルの向上を促します。 ・「〇〇がしたい」「〇〇は嫌です」など、こどもの気持ちに寄り添い、自分で意思表示ができるように支援します。 ・「〇〇貸して」「ありがとうございます」などの他者とのやり取りや、「おはよう」「さようなら」などの挨拶が行えるように支援します。 ・必要に応じて、言語的コミュニケーションだけでなく、絵カードなどの視覚的なコミュニケーションも取り入れて、気持ちが伝えられるように支援します。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人達と安定した人間関係を形成することができるように、個別や小集団での療育を通してルールなどの認知過程や協力するなどの行動過程を支援します。 ・「一人できた」「〇〇さんとできた」などどうすればできるかなどの自己認識を高め、必要に応じて助けが求められるなど適応力が向上できるように支援します。 	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のやりとりや懇談等を通してご家庭の悩みに寄り添い、より良い関わり方などを一緒に考えます。 ・児やご家族が選んだり選択できるように支援します。 ・夏祭りなど保護者同士が関わりが持てる機会を支援します。 	移行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関（保育所・学校）と連携し、必要に応じて訪問します。情報提供・共有を通して、具体的な関わり方を共有します。 ・申し送りや伝達を通してスムーズに移行できるように支援します。 ・学校の引き渡しの際、今日の様子などを共有して支援に活かします。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関（保育所・学校）と連携をとり、情報共有してインクルーシブ教育のニーズに合わせた支援を同時に提供できるように支援します。 ・地域のイベントに参加、他施設（福祉施設など）との連携を通して地域との交流の場を提供します。 ・実習生や施設見学などを受け入れ、地域との関わりと大切にします。 ・地域の施設（暑見学など）・企業との関わりを大切にして地域での役割を学ぶ機会を提供します。 	職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加・報告 ・職場内学習会 ・事例検討（定期開催） ・朝会での療育内容の振り返り、支援内容の確認（毎日実施） ・感染対策、虐待防止研修などの実施
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学（警察署、消防署見学）、買い物練習、料理活動、プール活動（7～8月） ・リトミックなど外部講師 ・他 季節の行事 	